近畿大学病院 産婦人科

第 1 版　2026 年 10 月 15 日

近畿大学病院 産婦人科で骨盤臓器脱に対する内視鏡下仙骨膣固定術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院 産婦人科（以下、当科）では、「内視鏡下仙骨膣固定術におけるバーブド糸を用いた後膣壁縫縮術の周術期成績および長期再発への影響」という臨床研究を行います。そのため、当科で骨盤臓器脱に対して内視鏡下仙骨膣固定術（SC）を受けられた患者様の診療情報および手術記録を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部等倫理委員会（https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html）で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、骨盤臓器脱に対して内視鏡下仙骨膣固定術（SC）を施行した症例について、バーブド糸（V-Loc®）を用いた内視鏡下後膣壁縫縮術を施行した場合と施行しなかった場合で、手術時間、出血量、周術期合併症などの手術成績、および術後の骨盤臓器脱再発（膀胱瘤、直腸瘤、頂部再発）に違いがあるかを検討します。対象は 2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当科で SC を受けられた患者様です。利用する情報は、患者様個人が特定されないように加工した上で厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供したり、別の研究で利用したりすることはありません。

② 利用する情報の項目

カルテ情報・手術記録（年齢、経産回数、Body mass index（BMI)、手術日・手術年、術前 POP-Q stage、手術術式、バーブド糸（V-Loc®）を用いた内視鏡下後膣壁縫縮術の有無、経膣的後膣壁形成術の有無、手術時間、出血量、術後在院日数、術中・術後合併症の有無及び内容、術後 POP-Q 所見、再発の有無・部位・確認日、再手術の有無、最終受診日）

産科婦人科学教室内に保管している手術記録

③ 利用開始する予定日

近畿大学医学部長の研究実施許可日（2026 年 11 月 12 日）

④ 利用する者の範囲

研究責任者：小谷　泰史

研究分担者：加嶋　洋子

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、申し出のタイミング（すでに研究結果の解析段階に入っている、解析がすでに終了している、など）によっては不可能な場合があることをご了解ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

［お問い合わせ先］

近畿大学病院 産婦人科　小谷泰史

電話：072-288-7222　FAX：072-298-1500

以上